

桐栄会 広報



7月号



発行者 ● 社会福祉法人桐栄会
 ● 青森市浪岡大字樽沢字村元330番7
 TEL 0172-62-9201
 FAX 0172-62-9019
 編集 ● 広報「とうえい」編集委員会



『とうえい』 発刊によせて

社会福祉法人桐栄会

理事長 中川 晴信



この度、社会福祉法人桐栄会として広報誌「とうえい」を発刊することになりました。

これまで、浪岡事業所及び常盤事業所が個別に広報誌を作成しておりましたが、両事業所が共通した事業を実施していることもあり、更に充実を図るため、これを統合することにしたものです。

現在、社会福祉施設では、その提供するサービス等に関し、広く情報公開することが求められており、当法人も平成十九年度基本方針の中に「利用者の個人情報是十分に守りながら、施設、事業の情報をできるだけ開示していく」という一項を掲げているところ です。

広報の内容としては、介護保険制度や福祉サービスに関する情報や各事業所の取組みを予定しており、利用者及び家族の方々始め地域の方々へ提供したいと考えています。お読み頂き御意見等お寄せ下されば幸甚です。

さて、社会福祉法人桐栄会は設立以来、間もなく二十一年目を迎えるようとしております。

この間人口の急速な高齢化と要介護高齢者の増加により、福祉ニーズも著しく増大しました。当法人もそのニーズに対応するため、順次事業を追加してきました。

その結果、現在では地域における当法人への期待も徐々に大きくなってきていると認識しております。またその反面、責任も益々重くなっていると考えております。

一方、社会福祉法人をめぐる状況は年々厳しさを増しており、遠からず国から新たな福祉経営の方向性が示されるのではないかと考えられます。

その一つは、社会福祉法人の経営は、これまでのような「施設管理」に代わり、「法人単位の経営」となるというものであり、経営の効率化・安定化のためには、法人全体で

トータルとして採算をとることが不可欠であり、そのためには、複数の施設・事業を運営し、多角的な経営が行えるよう、合併や事業譲渡による「規模の拡大」を目指すことが有効だというものです。

次に、社会福祉法人も「護送船団方式」はなじまない時代であり、法令遵守に問題がある法人・経営者もとより、ケアの面で質の低い法人・経営者はルールに則って退出させるべきであるというものです。

また、公益性をもつ法人として、社会的ルールの遵守、説明責任を果たすことが強く求められるとし、人材の育成・確保が法人経営において極めて大きな課題であるというものです。

社会福祉法人桐栄会としては、このような方向性が出されたとしても引き続き安定した経営を継続していくため、法人一丸となって今後の当法人のあり方について検討していく必要があると考えています。

あいさつ

ゆうゆう荘 園長

田中 多津子



ゆうゆう荘は、開設されて今年で二十二年目を迎えることができました。これも、皆様方の御支援、御協力の賜と深く感謝申し上げます。開設当初は、特別養護老人ホーム一ヶ所の事業でしたが、デイサービス事業、ヘルパー事業、在宅介護支



援センター事業等と高齢者介護に関わる事業を展開し現在に至っております。

この間高齢者介護に関する新しい法律が制定され利用される皆様方ももちろんのこと現場で仕事をしている私達は大きな転換期を迎えることとなりましたが、利用される方の視点に立つという基本を守り、地域に根ざした事業を進めていくことに何ら変わりはありません。

これまでも、地域との交流の場とし夏祭り等を実施し施設の開放をしてきました。

また、保育園や学校の子供達も毎年訪問してくれ利用者の皆様的心を癒してくれています。

今年は特に、老人クラブの皆様方の応援をいただき花壇の整備をいたしました。花いっぱいの前庭に生まれ変わりました。

老人クラブの皆様方には花の植え付けだけでなく草取りまでしていただくことになっており、本当にありがたく思っております。

地域の人々とのつながりを、今更以上に大事にし、更なる地域に根ざした施設を目指して職員一同頑張っておりますので今後も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

トピック

目いきこ 花いっぱい!!

地域住民との交流の一環として、地域の老人クラブにご協力を依頼し、花壇の整備に着手することになりました。

去る五月上旬～六月中旬にかけて、ゆうゆう荘の園庭にて、花壇整備が行われました。今回の花壇整備は、庭園の土の入れ替えから苗植えまでとても大掛かりな作業となりました。各老人クラブのご協力のもと、きれいに整備された花壇は、ホーム・デイサービスの利用者の皆さまにもとても好評でした。



そして、ご多忙な中、今回ご協力してくれました、樽沢長生会、樽沢老人クラブ、花岡永若会、郷山前老人クラブ、吉野田第一、第二老人クラブの皆さまには広報誌を通じて再度お礼を申し上げます。

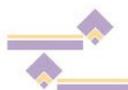
吉田

あいさつ

常盤事業所施設長

山口 昌勝

本年五月から常盤事業所の施設長に任命されましたが、利用者の方々の命をお預かりするという職責の重さに気が引き締まる思いがしています。今後は、一日も早く業務に習熟し、信頼を得られるよう努力して参りたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。



さて、常盤事業所には、特別養護老人ホームをはじめ、ショートステイ、ケアハウス、グループホーム、デイサービスセンター及び在宅介護支援センターが同一敷地内に設置されておりますので、相互に連繋を密にし、複合的機能を有する事業所のメリットを生かすことにより、地域の高齢者や家族の方々の多様なニーズに、きめ細かに対応していきたいと考えています。

次に各事業所に共通する平成十九年度運営方針の主なるものをお知らせします。

- 職員は、明るい笑顔と優しい言葉で利用者へ接し、質の高いサービスを提供できるよう日々研鑽に努める。
- 個別ケアを進めるため、利用者個々の心身の状態、生活歴等をより深く把握し、理解して接するように努める。
- 利用者個々の生活が豊かになるように余暇活動、行事等の機会を可能な限り数多く提供する。
- 事業所内の関連する他のサービスや機能を活用し、利用者の健康保持・増進等利便の向上に努める。
- これまで培ってきた介護・支援の知識、技術をフルに発揮し、より高度な介護・支援を行うよう努める。
- 「気付き」にポイントをおき、利用者の変化に敏感に対応する。

トピックス



施設内から外を見ると新緑の木々に囲まれ、落ち着いた庭園環境の中にあります。最近そんな庭園の一部に、プランター、ベンチ、パラソルなどを設置し『こいの場』を造りました。色鮮やかな草花を眺め、ほつと息気分転換の場になって頂ければと思っております。



また、デイサービスセンターとケアハウス玄関の花壇では、ラベンダーが花盛りをむかえ見頃です。ラベンダーの紫色も鮮やかでさわやかな今の季節にぴったり。近くに寄ると、風につてほのかな甘い香りがし、利用者の方々と共に季節を感じております。



斎藤・渡辺

特養ときわ

夏祭り

7月14日(土)

午後5時～8時まで

お楽しみ会
ねぶた大鼓と
一條千賀子鼓謡ショー

アトラクション
ゲストや地域のみなさん、
職員のアトラクション!

第21回 ゆうゆう荘夏まつり

平成19年7月28日(土)

もぎてん 午後5時から
アトラクション 午後5時30分から

ちぎてん
おこのみやき
やきそば
やきとり
フランクフルト
アイスクリーム
金魚すくい
わなくじ
菓子等

夏のイベント

社会福祉法人 桐栄会の事業

浪岡事業所

【介護保険指定事業】

特別養護老人ホーム

ゆうゆう荘

- ・介護老人福祉施設
- ・短期入所生活介護
- ・訪問介護
- ・介護予防短期入所生活介護
- ・介護予防訪問介護
- ◆デイサービスセンター 悠悠
- ・通所介護
- ・認知症対応型通所介護
- ・介護予防通所介護
- ・介護予防認知症対応型通所介護
- ◆浪岡在宅介護支援センター
- ・居宅介護支援
- ・介護予防居宅介護支援
- 【老人福祉事業】
- ・浪岡在宅介護支援センター
- ・外出支援サービス
- ◎電話(代) 〇一七二一六二一九二〇一

常盤事業所

【介護保険指定事業】

特別養護老人ホームときわ

- ・介護老人福祉施設
- ・短期入所生活介護
- ・介護予防短期入所生活介護
- ◆デイサービスセンター みずき
- ・通所介護
- ・認知症対応型通所介護
- ・介護予防通所介護
- ・介護予防認知症対応型通所介護
- ◆在宅介護支援センター あずさ
- ・居宅介護支援
- ・介護予防居宅介護支援
- ◆グループホーム いこい
- ・認知症対応型共同生活介護
- ・介護予防認知症対応型共同生活介護
- 【ケアハウス】
- ・ケアハウスしずか
- ・在宅介護支援センター あずさ
- ・外出支援サービス
- ◎電話(代) 〇一七二一六九一五二二五



◎編集後記

広報「よこえい」第一号の発刊になんとかこぎつけることができました。二十年の歴史を踏まえつつ、新たな気持ちで一歩前へと進んでいきたいと思えます。

♡感謝録

- ・郷山前老人クラブ
- ・樽沢老人クラブ
- ・樽沢長生会
- ・花岡永若会
- ・吉野田第一長寿会
- ・吉野田第二長寿会
- ・白鳥母親クラブ
- ・下町幸永会
- 順不同・敬称略

ありがとうございました。

栗田



※「よこえい」掲載の個人に関する情報は、ご本人の許可を得て使用させて頂いております。